

荒川区区政改革懇談会

第3回福祉・健康・子育て分科会 議事要旨

【日時】

8月9日（水）10：00～12：00

【場所】

荒川区役所 3F 304 会議室

【次第】

ステップ1：本日のプログラムの説明

ステップ3：次回の討議に向けた話し

ステップ2：「幸せ」についてのフリー

合い

ディスカッション

ステップ4：その他

ステップ1 本日のプログラムの説明

コンサルタントより前回までの経緯について説明

ステップ2 「幸せ」についてのフリーディスカッション

- ・ 幸せは観念的なもので、さまざまな環境や状況の中で十人十色である。
- ・ 感謝の気持ちを持つことが大切。
- ・ 高齢者に週1回電話をかけるボランティアをしている。1人で10人を担当し、自宅に電話をして話をする。このメンバーで1年に1回交流会を行う。交流会に出席しなくても電話がかかってくるのを待っている人が多い。
- ・ 訪問するのはまた別なボランティアで月2回訪問する。一人暮らしの高齢者は話し相手を欲しがっている。
- ・ 一人暮らしの高齢者には電話の基本料が区から補助されていたが、今回その補助がなくなった。
- ・ 高齢者のいる世帯は大変である。ショートステイがなかなかとれない。とれても状況によって帰されることもある。
- ・ 高齢者夫婦で生活している場合はまだ良いが、一人暮らし高齢者は困ることがある。
- ・ 学校の行事に両親で出席することが増えている。
- ・ 出産費用が50万円くらいかかる。補助があっても20万円は自己負担になる。
- ・ 補助をもっと増やすべきだと思う。
- ・ 子どもの医療費補助は充実してきている。
- ・ 住宅費が高い。
- ・ 家賃が高くて家族で住みにくい。
- ・ 住居費は収入の30%かかるようになって生活費を圧迫している。
- ・ 子どもがいても、高齢者になった時には結局、夫婦二人になる。

- ・近所づきあいも変わってきて、子どもが結婚してもあいさつに連れて回らない家もある。
- ・町会は70代～80代の人を中心である。
- ・若い人を育てるのはおとなであるのに、苦言を呈する人が少ない。近所でも昔はうるさいおじさんやおばさんがいていろいろ注意していたが、今はそういう人もいない。
- ・人それぞれ感じ方がちがうので、あいさつするだけの方が楽な気もする。
- ・ヘルパーがたくさん増えている。いろいろな事業所がある。
- ・ヘルパーを頼むより家族がみる方が高齢者には良い。
- ・ヘルパー同士で高齢者のプライバシーに関しても話している。
- ・ヘルパーの人柄でやってもらえる仕事もかわってくる。
- ・今の高齢者は医療費も安く、恵まれている。
- ・この懇談会のような会議で意見を出し合って、区政を動かすくらいにしたい。
- ・たばこを吸っている若い女性に注意したら、反対におこられた。
- ・若い女性のファッションで出産に影響することもあるらしい。ジーパンを長くはいると骨盤が変形するらしい。
- ・親や兄弟より同年代の仲間の影響が大きい。親が注意してもだめ。

ステップ3 次回の討議に向けた話し合い

- ・次回の話し合い内容は、出席した人たちで決める。

ステップ4 その他

次回日程について

今回は、FAX等でそれぞれの都合を聞き、出席者の多い日に決める。

以上